



～さらに安全・安心なまちをめざして～

セーフコミュニティ通信

第6号



発行 平成28年9月 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

決定！郡山市セーフコミュニティ事前指導



開催日 : 11月8日(火)～9日(水)

会場 : 郡山市役所西庁舎3階 多目的ホール

各対策委員会や外傷サーベイランス委員会をはじめとした各団体が一丸となり、“オールこおりやま”で事前指導に臨みます。

第12回郡山市セーフコミュニティ分野別対策委員会

分野別対策委員会が、去る8月4日(木)に市役所本庁舎正庁で開催されました。

対策委員会には、一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構代表理事であり、本市セーフコミュニティアドバイザーを務める白石陽子先生にもお越しいただき、各対策委員会がこれまで検討を重ねてきた重点課題の解決策の方法や手段等について振り返るとともに、外傷サーベイランス委員会で報告する資料の内容についても再確認を行い、白石先生からアドバイスをいただきました。

また、今年3月にセーフコミュニティ取組宣言を行い、取組を開始した埼玉県さいたま市の担当職員2名が、本市セーフコミュニティ対策委員会の会場を訪れ、本市対策委員会の様子を写真に収めたり、対策委員会の皆さんに質問をするなど視察を行いました。

各対策委員会では、引き続き、より具体的な取り組みを行い、けがや事故のない“こおりやま”の実現を目指していきます。



さいたま市 秋本氏が挨拶



こどもの安全対策委員会



高齢者の安全対策委員会



防犯対策委員会



防災・環境安全対策委員会





平成28年度第1回郡山市セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会を開催！

外傷サーベイランス委員会が、去る8月18日（木）に市役所西庁舎3階多目的ホールで開催されました。

本委員会では、分野別対策委員会のこれまでの取り組みを振り返るとともに、今後、各対策委員会が必要とするデータ、更には今年11月にセーフコミュニティ海外認証審査員を招いて開催される事前指導のスケジュール等について協議・報告を行いました。

高校生の自転車事故が多いという重点課題の具体的な解決策として、交通安全対策委員会からは、スケアードストレート（事故の恐怖体験）を導入することを検討したいとの報告に対し、サーベイランス委員会からは、「スケアードストレートは、スタントマンが事故を再現することから恐怖を体感するには有効な手段であるが、1回あたり約30万円かかる。1校だけで実施するのではなく、複数校の生徒に見てもらえるよう工夫が必要ではないか。」とのアドバイスがありました。

各対策委員会の皆さんは、サーベイランス委員の皆さんからのアドバイスを今後の対策委員会に活かそうと、真剣な表情でアドバイスに耳を傾けていました。



外傷サーベイランス委員の皆さん



事務局から今後のスケジュール等を報告



各対策委員会からの報告

平成28年度第1回郡山市セーフコミュニティ推進本部会を開催！

推進本部会が、去る8月22日（月）に市役所で開催されました。

推進本部会は、行政としての取り組み方針を決定する役割を担い、品川市長を本部長に部長職以上の職員で構成されています。

本部会では、品川本部長（市長）が、「まずは、市役所内、学校教職員の交通事故ゼロを目指そう。」と挨拶。会議では、事務局からこれまでの取り組みと今後の予定について報告を行うとともに、平成29年度の国際認証の審査までの取り組み進捗状況としては、現在、概ね50%であるとの報告を行いました。



品川本部長（市長）挨拶



事務局からの報告



各部署が団結してSC推進することを確認

【各対策委員会の現時点における検討状況】

交通安全



重点課題	具体的な対策(案)	着目点、対象事業等
1 高校生の自転車事故が多い	スケアードストレート(事故の恐怖体験)導入	中、高校生の交通安全教室
	通学路安全点検事業との協働	通過する運転者への働きかけ
	自転車点検と保険の加入促進	ヘルメット着用推進も考慮
2 高齢者の交通事故は重傷になりやすい	交通安全教室、啓発チラシの改善等	高齢者クラブ、あさかの学園大学との協働
	アンケートによる実態把握	ひやり、ハッと経験等の調査
	運転免許自主返納の推進	高齢者、家族への働きかけ
3 交差点での事故が多い	※今後検討	

こどもの安全



重点課題	具体的な対策(案)	着目点、対象事業等
1 こどものけがは交通事故が多い	小中学生の交通安全教室の改善	保護者参加の拡大等
	自転車点検方法と交通ルール遵守促進	保護者への啓発等
	道路環境の改善	コロナビこおりやまの活用等
2 虐待を受けているこどもが依然として多い	子どもの定期健診時に「子育て講座(虐待に関する講座)」を実施	講座を受講し、健診終了とする
	企業向けに虐待に関する「出前講座」を実施	企業に向いた講座の実施
見直し	※今後検討	
3 こどものけがが多く発生している	本来安全な居場所であるはずの自宅等でケガが多く発生していることから重点課題の見直しを行った。	

高齢者の安全



重点課題	具体的な対策(案)	着目点、対象事業等
1 転倒事故が多い	筋力づくり運動の普及促進	いきいき百歳事業等の現在の教室を活用
	栄養、口腔ケアの普及促進	低栄養の解消、栄養士の指導等
	住環境の整備	住環境チェックリスト作成等
追加	窒息事故が多いことを広く知らせる	対処法を含めた啓発
	嚙むことの重要性について意識付け	※今後検討
2 不慮の窒息が多い	口腔ケアの推進	
3 高齢者虐待が多いのではないかと	地域での見守り 認知症高齢者SOSネットワークに協力	
4 認知症の方への対策が必要	地域ケア会議の活用 各種研修会への参加	
5 高齢者のけがは交通事故が多い	※交通安全対策委員会で検討中	

自殺予防



重点課題	具体的な対策(案)	着目点、対象事業等
1 働き過ぎの自殺が多く、若者の自殺が減少しない	周囲の方が気づくことができるための対策	ゲートキーパー養成、フォローアップ 自殺の現状、原因、疾患等の研修会
2 自殺防止相談の窓口等が知られていない	相談できない(しない)方への対策 ※相談のハードルを低くするために	本音を語れ、愚痴を言え、ひとりじゃないと感じられる場所 周知啓発方法の改善等
	自殺防止の理解、関心を高めるための対策	※重点課題1に同じ
	相談窓口周知方法の改善	周知啓発方法の改善、窓口の連携
3 健康や経済問題が原因の自殺が多い	※今後検討	

防 犯



重点課題	具体的な対策(案)	着目点、対象事業等
1 郡山駅前の治安が悪い	違法客引き等の防止対策	警察、機関、団体の協働によるパトロール 対策会議等
	パトロール拠点、監視員等の配置	
	防犯カメラ設置	
2 地域力の低下	住宅街の犯罪防止、防犯意識、地域活動の活性化	※今後検討
3 ハイリスク集団(女性、こども、高齢者)の被害が増加傾向	※今後検討	
4 情報モラルを学ぶ機会が少ない	※今後検討	
5 防犯の意識、知識が低い	※今後検討	

防災・環境安全



重点課題	具体的な対策(案)	着目点、対象事業等
1 自然災害等の不安が大きいが防災意識は低い	出前講座の活用	町内会、自主防災組織、育成会等
	学校の授業への取り入れ	小中学生、保護者
	地域イベントに合わせた防災啓発	町内会、自主防災組織、育成会等
2 地域コミュニティが低下している(地域での防災体制が不十分)	市防災訓練や各種講演会等への参加	自主防災組織等 地域防災体制の向上
	地域防災マップの作成	防災意識の把握→地域防災体制の改善
	防災意識アンケート(地区ごと)	
3 労働災害が多い	※今後検討	



発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会

〒963-8601

福島県郡山市朝日一丁目23番7号

事務局 郡山市市民部市民安全課セーフコミュニティ推進室

電話 024-924-2151 Fax 024-921-1340

e-mail siminanzen@city.koriyama.fukushima.jp

今までのセーフコミュニティ通信はこちらから→

